

## 特集

# 明和病院産婦人科で提供で

院長補佐兼産婦人科主任部長 辻 芳之



以前女性は家庭におられ、仕事をされている方は多くありませんでしたが、現在は仕事に就かれている方が多く、体の不調があっても仕事を休むことができず無理を重ねている方も多いと思います。子宮筋腫などで月経の出血が多く貧血が苦しんでおられる方がたくさんおられますが、そのような方でもいざ治療を受けるとなると入院やその後の体調の回復などで長く仕事を休まなくてはなりません。明和病院では新しい技術や設備を導入して患者さんのお体の負担、時間的な負担を少なくし、少しでも早く元気に活躍していただけるような治療法を提案させていただいています。そのような低侵襲、短期間治療についていくつかご紹介いたしますのでそのような症状でお悩みの方がおられましたらいつでもご相談ください。

## 子宮頸部異型性上皮の半導体レーザー治療

子宮がん検査で異常が見つかることは意外と多くあります。そのような検査結果が出たときは本当に驚かれますね。しかしご安心ください。そのほとんどはまだがんになっていない段階です。HPV（子宮頸部がんの原因になる発がんウイルス）に感染して子宮頸部の細胞が軽度異型性、中等度異型性あるいは高度異型性という段



半導体レーザー装置 ADL-20

# できる低侵襲治療のご紹介

階に変化はしているが、まだがんになってはいない段階で発見されていることが多いのです。そのなかで高度異型性は数年で本当のがんに移行することも多いので円錐切除や手術で嚴重に治療する必要があります。しかし子宮がん検診で異常といわれた方の大部分は中等度異型性以下のレベルですので半導体レーザーで異型上皮を蒸散させることにより治療させることもできます。中等度異型性の方には原因になっている HPV がどの形であるか検査で決定した上で将来がんに移行する危険性の高い場合半導体レーザー蒸散法をおすすめします。半導体レーザー蒸散法は円錐切除のように将来の妊娠に影響することもほとんどなく局所麻酔で 1 時間以内に終了し日帰りも可能ですので働かされている女性でもご負担なく治療を受けていただけたと思います。

## 月経過多の MEA(マイクロ波子宮内膜焼灼)による治療

月経の量が異常に多くて貧血で体調を崩されたり仕事中多量出血のために非常



MEA 装置

に困られたりしている方はずいぶんたくさんおられます。このような過多月経の原因は子宮筋腫、子宮腺筋症、子宮内膜増殖症、子宮内膜ポリープ、血液凝固障害など非常にたくさんありますが悪性の病気が完全に除外できておれば、その原因にかかわらず月経を永久に来なくさしてしまう治療があります。MEA はマイクロ波を子宮内部に 10 分間ほど照射し子宮内膜を凝固させ永久に月経が来なくさせる方法です。

子宮を摘出するのと同じ効果があります



がおなかを切ることもなく翌日から社会復帰もできる簡便で安全かつ非常に低侵襲な治療です。もちろん妊娠ができなくなるのでこれからも妊娠を望む方にはできませんが、過多月経で非常につらい思いをしながら、子宮を提出することに抵抗のある方や2,3日以上以上の休業が無理な方などから、本当にこの治療を受けてよかったと喜んでいただいています。

### 子宮鏡手術（子宮内膜ポリープの外来手術）

子宮内膜ポリープは不正出血や過多月経、不妊症にも関係するのではないかとされています。よく婦人科検診などで指摘される子宮頸管ポリープとは別の疾患です。子宮の奥の子宮内膜に発生するので通常の検診で見つかることは少なく超音波検査で疑いがある像が出て子宮鏡検査で診断が確定します。

時には悪性の場合もありますのである程度大きな場合は切除して病理検査をする必要があります。手術そのものは非常に簡単にできるので、できれば外来ですませるものは外来手術で行わせていただきます。外来の検査で使う子宮鏡に子宮内膜ポリープを引っかけるループをつけて子宮鏡モニターしながら根元から切除します。局所麻酔で行いますのですぐに帰宅できます。不正出血や過多月経の原因が子宮内膜ポリープであることも多く、その場



子宮腔内にマイクロ波を照射するアプリケーションター

合このような簡便な手術も提案させていただきます。

### 手術以外の治療法（新しい薬物療法）

これらの手術的な治療のほかにも例えばレルミナ錠という子宮筋腫の症状を一気に抑える新しい薬やミレーナというホルモン剤付きの子宮内に入れる小さなリングで月経を激減させる方法なども患者さんに優しい低侵襲治療として御提供しています。

